

第19回 K1 Kitagawa Cup Mini Bike Race

北川圭一杯 2時間耐久 ミニバイクレース2023

規則書



日 時：2023年12月10日(日)

場 所：近畿スポーツランド

主 催：ケイズワン 近畿スポーツランド

運 営：KSLオフィシャルクラブ

特別協賛：スズキ二輪 アート引越センター

協 賛：オートレース宇部 ベビーフェイス BRグループ ダンロップ グリップ商事(elf/RK)
ヒットエアー J-TRIP m-tech ライコランド京都店 / ライコランド姫路店 / MOTO STYLE 奈良
RSタイチ ウェビック ウェストパワー

協 力：アライヘルメット オートリメッサ デイトナ DID大同工業 GO&FAN
F-モトワークス KTC京都機械工具 MFDモトフィールドドッカーズ NGKスパークプラグ
シナノテント サンスター SBS京橋ツーソン 上方温泉一休京都本館 (順不同・敬称略)



北川圭一杯 2時間耐久 ミニバイクレース2023 規則

開催クラス(3レース)

A耐久(2時間耐久) タイム制限なし

- ① ノーマルクラス(ノーマルエンジン車両)
 - ② SPクラス(ノーマルエンジン準改造車両)
 - ③ OPクラス(オープン車両)
 - ④ GSX125クラス(スズキGSX-R125とGSX-S125のワンメイク)
- (上記4クラス混走となります。賞典は各クラス別表彰となります)

B耐久(2時間耐久) タイム制限あり

- ① ノーマルクラス(ノーマルエンジン車両のみ)
 - ② GSX125クラス(スズキGSX-R125とGSX-S125のワンメイク)
- 平均ラップタイムが約47秒以上の中級者の方対象。

エンジョイ耐久(2時間耐久) タイム制限あり

- ① Aクラス(ノーマルエンジン車両)
 - ② Bクラス(ノーマルエンジン車両)
- 平均ラップタイムが約51秒以上の初心者の方対象。
平均ラップタイムが約54秒以上の初心者の方対象。
(エンジョイA・B混走となります。賞典は各クラス別表彰となります)

※上記の参加制限タイムは、チーム全てのライダーの平均タイムが基準です。
※B耐久・エンジョイ耐久はアトラクションペナルティがあります(耐久レースの競技方法の項目をご参照ください)。
※参加ライダー全員の平均タイムが参加制限タイムより速い場合はペナルティ又は賞典外となることがあります。

参加資格

下記のいずれかを満たしている方

- 原付以上の運転免許証の所持者(近畿スポーツランド規則を熟知している方)。
 - 近畿スポーツランドライセンス保持者。
 - 近畿スポーツランドの認めるMFJライセンス・サーキットライセンス所持者。
- ※参加者が未成年の場合は、親権者の同意が必要です。親権者が誓約書(承諾書)に署名、実印を押印してください。(要3ヵ月以内に取得した印鑑証明)。

参加申し込み

- 1チームライダーは4名まで登録できます。
※全クラス必ず2名以上で参加してください。
- ①近畿スポーツランド公式HPよりネットエントリー。
北川圭一杯2023エントリーフォームに必要事項を記入し、1週間以内に指定口座に振り込み完了で申し込み完了。
- ②申込書に必要事項と参加費を同封し、下記住所に現金書留で郵送。
- ③近畿スポーツランドで参加費と一緒に直接申し込み。

参加費

- 全クラス 22,000円(2名分)
3人目からライダー追加1名につき3,000円
- ※車両1台でライダー4名まで参加できます。
※エントリーキャンセルは事務手数料を差引きご返金の対応いたします。ただし、エントリー受付締切り後のご返金は対応出来ません。
※エントリー後の各種変更手続きは1件につき手数料1,000円が必要となります。ただし、変更内容によっては対応出来ない場合があります。

申込先

〒610-0251 京都府綴喜郡宇治田原町高尾栢尾10
近畿スポーツランド・レース係 TEL/FAX.0774-88-3633
ホームページ <https://www.kinspo.com/>

受付(定員と申し込み締め切り)

A耐久 = ノーマル・SP・OP・GSX125クラス合計先着40台迄
B耐久 = ノーマル・GSX125クラス合計先着40台迄
エンジョイ耐久 = A・Bクラス合計先着40台迄
※締め切りはレースの1週間前とし、定員になり次第、締め切ります。
※各レース参加台数が5台以下の場合、開催しない場合があります。(主催者判断)

競技方法

- スターティンググリッドは、申し込み順で決定します。
- スタート方法は、ル・マン式スタートとします。
- ピットイン毎に必ずライダー交代を行ってください。アトラクションペナルティ、赤旗のピットインの場合も必ずライダー交代してください。
- レース中、最低3回以上ライダー交代を行ってください。
- 走行ライダーの1回の走行は最低10周以上(車両トラブル・転倒は除く)、最長40分以内とします。

タイム制限(B耐久・エンジョイ耐久)

- B耐久=平均ラップタイムが約47秒以上
 - エンジョイ耐久Aクラス=平均ラップタイムが約51秒以上
 - エンジョイ耐久Bクラス=平均ラップタイムが約54秒以上
- ※第1・第2(第3・第4)ライダーの平均ラップタイムを基準タイムにします。
※基準タイムより速いライダーが著しく長い時間走行した場合、主催者の判断によりペナルティまたは賞典外となることがあります(これに関する抗議は一切受け付けません)。あくまでもエンジョイレースです。ご理解ください。

アトラクションペナルティ(罰則タイム)

- B耐久・エンジョイ耐久は、レース中に(B耐久=45秒、エンジョイ耐久A=48秒、エンジョイ耐久B=51秒)を切ったライダーには、アトラクションペナルティ(腕立て伏せ・青汁一気飲み等、楽しい内容)が科せられます。
- ※上記タイムを切ったチームは、黒旗指示によりピットインし、アトラクションペナルティを消化後、ライダー交代をして、再スタートとなります。
- ※アトラクションペナルティは1回までとし、それ以上ペナルティタイムを切った場合は1周減算とします。また、運営上の問題でアトラクションペナルティが消化できない場合も同様とします。

FCY(フルコースイエロー)ボード

- 競技者とオフィシャルの安全の確保が必要と判断した場合、コース指定箇所に「FCY」と書かれたボードとイエローフラッグが一斉に出されます。全ライダーは手などで確認の合図をして、徐々に減速(約30Km/hまで)してください。コース上の作業(処理)現場は最徐行で通過してください。
- ※FCYボード掲示中は、他の車両の追い越しは禁止します。
- ※FCYボード掲示中は、転倒による修理のピットインは出来ますが、ライダー交代のみのピットインは禁止とします。
- レース再開は、FCYボードとイエローフラッグが解除され、各所で一斉にグリーンフラッグが振られるとレース再開(追い越し可能)となります。
- ※FCYボード掲示中は、ライダーの連続走行時間が40分を超える場合であってもピットインせずにFCYボードが解除後に直ちにライダー交代してください。
- ※FCYボード掲示中に赤旗(レース中断)となる場合があります。

走行規則

給油は原則禁止します。トラブル等で止む終えない場合は、必ずオフィシャルに申告し、許可を得て給油してください。

ピットインする場合は、ピット入り口手前のコーナーはアウト側を走行し、必ず合図をして、スローダウンしてピットインしてください。ピットロードではエンジンを停止し、車両は押してください。軽微な修復はピットロード左端に車両を寄せて、他の通行車両の妨げにならないよう行ってください(時間を要する修理は自分のピットで行ってください)。

ライダー交代は指定されたライダー交代場所で行ってください。

コースインする場合は、後方確認の後、合図をして、ホワイトライン終了地点までアウト側を必ず走行してください。いきなり1コーナーのイン側を走行してはいけません。

ショートカット走行は周回数減算となります。ただし、危険回避のやむを得ない一時避避は除きます。

最終コーナーで転倒した場合は、そのままコースに復帰することは厳禁です。すぐにピットロードに避難してください。

賞典

各レース、クラス別に1位・2位・3位まで表彰します。その他、特別賞・抽選など豪華商品が当たります! ただし、参加数が1~4台の場合は1位のみ表彰(レース不成立の場合もあります)。参加数が5~8台の場合は1位・2位を表彰します。

ゼッケン

- 受理書で指定のゼッケンを、フロントカウル、シートカウルの両サイドの見やすい位置にアラビア数字で遠くからでも認識できるように表示してください。
- ※シートカウルの面積が狭い場合は、シートカウル中央に1箇所とサイドカウル(アンダーカウル)の見やすい位置に2箇所に表示してください。
- ※ゼッケンは市販品やカッティングシートが望ましい。
- ※ゼッケンの色、ゼッケンベース等の色は指定しません。
- 同一車両でゼッケン番号が変わる場合は、シートカウル及びサイドカウルのゼッケン表示は免除します。フロントゼッケンは付替えの工夫をお願いします。

車両規則

不明な部分は、
お問い合わせください。

全クラス共通車両規則

エンジョイ耐久 車両規則

参加可能車両

- 2スト排気量80cc未満の
ノーマルミッション車、及びスクーター
- 4スト排気量125cc未満の
ノーマルミッション車、及びスクーター

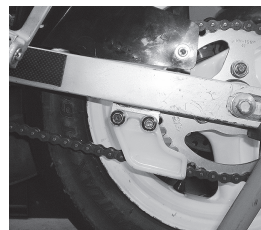
※レース専用エンジン・車両は参加できません。
ただし、NSRmini、NSF100、HRCグロム等は可。

■エンジン関係

- ×エンジンは一切改造できません(ノーマル状態とします)。
- チャンバー・マフラーの変更を認めます。
- ★オイルドレンボルトのワイヤーロック、アンダーカウル装着は“強く推奨”とします(施されていない場合は車検時に増し締めと、マーキングで対応)。
- ★全車両ガソリンのキャッチタンクは必ず装着してください。
- ★その他、全クラス共通車両規定を満たしていること。
- ※上記に合致しない車両でも性能的に有利にならない車両と認められる場合は、参加を認める場合があります。お問い合わせください。

エンジョイクラスの 着用装具について

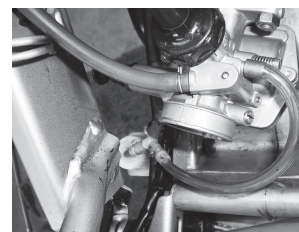
フルフェイスヘルメット、レーシンググローブ、ブーツは必須ですが、革ツナギについては、ツーリングジャケット、革パンツ等の厚手で丈夫な素材であれば、肘、膝にプロテクター、パッドを装着することで参加可能とします。



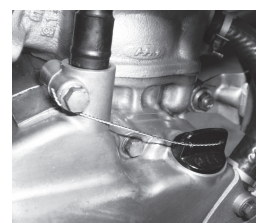
リアスプロケットガード



燃料キャッチタンク



燃料キャッチタンクのパイピング



ワイヤーロック

- 保安部品、ミラー、スタンド、ナンバープレートは取り外すこと。
ライト、ウィンカー、テールランプは取り外すか、テープングで飛散防止すること。
 - エンジン・ミッション・ブレーキオイル及び冷却水等油脂類は変更可。
 - ラジエターに不凍液が入っている場合は水に取り替えること。
 - ラジエター装着車は、容量100cc以上のリザーバータンクまたはキャッチタンクを取り付けること。サーモスタットは取り外し可。
 - キャブレターホース類に容量100cc以上の耐油性のある透明または半透明の燃料キャッチタンクを取り付けること。
 - 4スト車両はオイルキャッチタンクを必ず取り付けること。
※エアクリナーボックスがオイルキャッチタンクの機能を兼ねている車両はその限りではない。
※ブリーザーホースは大気解放せずキャブ吸入口の一番低い箇所の水平線よりも上部に取り付けること。
 - 燃料キャッチタンク・オイルキャッチタンクは必ず空にしておくこと。
 - 4スト車両は、全オイル量が受けられる容量のアンダーカウルの装着を義務付ける(スクーターは除く)。
 - 各部品が溶接またはボルト・ナット等で、確実に正しく取り付けられていること。
 - オイルフィルターキャップとオイルドレンボルトにはステンレスワイヤーを用い、ネジの締まる方向に引っ張り、フレーム等に固定し、ワイヤーロックを施すこと。
 - パイプ、ホース類はクリップ止め等の簡易なものは確実に外れない方式に交換すること。また使用するホースは、耐熱・耐油性を満たした物で、漏れないように確実に固定すること。
 - 前後各ホイールに効果的なブレーキがなくてはならない。
 - 著しく尖った部分や鋭利な部分がないこと。レバー、ステップ、ペダル、ハンドルの先端は丸みを帯びた形状であること。
 - ハンドルのバーエンドキャップは必ず取り付けること(ジュラコン製が望ましい)。
 - ハンドルは、左右一杯に切った状態で、ライダーの指を挟むことがない程度の隙間があること。
 - 走行中に路面等に接触するステップ、突起物等は取り除くか、加工(切断、研磨)等すること。
 - ミッション車はスイングアーム下側に「リアスプロケットガード」を必ず取り付けること。
 - チェーンカバーは材質・形状の変更可。
チェーン駆動車はフロント、リアスプロケットの両方にチェーンカバーを装着すること。
ただし、リアフェンダーがチェーンカバーの機能を完全に満たしている場合に限り取り外し可。
 - 安全上問題なければカウル類の取り外しは認める。それに伴う不要ステー類の切除も可。
FN車両は市販時のシルエットを保っていれば変更可。ただし、各部分が危険な形状にならないこと。
 - 排気音の極端に大きいものは不可(主催者判断)。
 - スロットルワイヤーの変更可。※ただし、SN50/FN4はスロットル変更不可(ハイスロ不可)。
 - セルモーターの取り外し可。
 - オーバーサイズピストンの使用は不可。※ただし、OPは除く。
 - シリンダーヘッド・ガスケット等は同年式の組み合わせ以外は変更不可。※ただし、OPは除く。
 - ホイールカラーの変更及びダストシール・メーターギアの取り外し可。
 - 同一形式以外でのエンジン・フレームの交換は認めない。
※ただし、OPと、NSR mini⇔NSR50、NS50R⇔NS50Fは可。
 - 燃料は無鉛ガソリンとし、通常のガソリンスタンドで購入出来るものに限る。その他一切の燃料添加剤・添加物の使用は禁止とする。
 - タイヤウォーマーの使用は可。ただし、電源は安全に整備された発電機を使用しサーキットの電源の使用は禁止する。また、スターティンググリッドでの使用は余熱巻を含め禁止する。
 - エンジョイ耐久、B耐久はラップタイム自動計測器やストップウォッチ等、決勝中のタイム表示機能機器の使用は不可。
 - メーカー純正部品の廃番により、同メーカー他車種の純正部品を無加工で装着出来、性能向上にならない純正部品の流用は認める。
 - メーカー純正部品の廃番による社外部品の純正補修パーツの装着は無加工で取付け出来、性能が向上しないパーツの使用は認める。ただし、必ず事前に使用するパーツを申告する事。
※ブレーキ関連パーツ(キャリパー・マスターシリンダー・ディスク)の社外部品の使用は原則認めない。
 - タイヤは一般公道用に市販されており、通常ルートで購入出来るものに限る。一般の参加者が入手困難な、特定のライダーのみが使用出来るテスト品を含むプロトタイプタイヤ等を使用した者は、使用させた者も含め、厳重に処罰する。
- その他、車検長が、危険または著しく不公正と判断した車両は、出走停止・不合格・改善指示の判断をする。その決定に対して、異議申し立ては認められない。

B耐久・A耐久 ノーマル GSX125クラス 車両規則

ミッション系

参加可能車両

- 2スト排気量50cc未満のミッション付車両 (KSR80は可)
- 4スト排気量100cc未満のミッション付車両 (KSR110は可)
- ホイール径12インチ以上 (各車両市販時の純正サイズを使用)
- 4スト排気量125cc未満のミッション付き12インチ車両 (グロム125・DEMONHOPPER・Z125PRO等)
- 4スト排気量125cc未満ミッション付き17インチ車両 (GSX-R125/S125はワンメイククラス)

■特別仕様車

- ★Ape100・XR100MにCRF100純正マフラーまたは社外マフラーを使用する車両は、ホンダ純正PD22キャブレター (NSF100またはCRF100)の使用及びCRF100純正インテークマニホールドの使用を認める。
- ※社外マフラー使用車両はキャブレターとインテークマニホールドの間にφ20以下のリストラクターを装着すること。
- 材質は自由とし、厚さ2mm以下とする。

■エンジン関係

- ×改造・変更・研磨一切不可。ノーマルとする。
- サービスマニュアルに記載されているエンジン整備は可。
- ※4スト車両のバルブのすり合わせやシートカット等。
- メインキーはキルスイッチがあれば取り外し可。
- キャブレター・ジェット類・スパークプラグ・プラグキャップ・プラグコード変更可。
- ×イグニッションコイルは変更不可。
- ※ただし、NSF100を除く、4スト車両は変更可。
- エアファンネル等の取り付けは可。
- リミッターカット及びCDIユニット及び電装ハーネス変更可。
- ×内圧コントローラーの取り付けは不可。
- クラッチスプリングの変更可。
- クラッチプレート及びフリクションディスクの枚数変更可。
- それに伴うクラッチセンターの純正部品の流用可。
- クラッチハウジングの段付き修正のみやすりがけの処理は可。
- キックペダル及び関連部品の取り外し可。
- インジェクション車両のECUの変更可 (サブコン・フルコン可)
- メーカー純正標準装備以外のオートシフターの使用は不可。
- ハイスク使用に伴う純正 (22ババ)キャブレタートップキャップの変更可。
- XR100M、APE100/100D、NSF100のエンジンパーツの互換性を認める

■チャンバー・マフラー

- ×2スト車両は変更不可。
- ※ただし、同一メーカー同排気量で、無加工で装着できる物は可。
- ×NSF100はマフラーの変更不可。
- NSF100以外の4スト車両はマフラーの変更可。
- チャンバーマフラーの補修補強可。
- ※ただし、性能に影響する改造は一切認めない。

■ショック・スプリング

- リアサス変更可。アダプターの追加も可。
- ※ただし、数量、取付位置の変更・改造は不可。
- ×フロントサスペンション変更不可。
- ※ただし、ダストシールの取り外し、オイル・油面・インナーブーツ・インシールドジャスターの変更・改造及びスタビライザーの装着可。
- ※GROMはカートリッジへの変更可。
- ステアリングダンパーの装着可。
- リアサス保護を目的とした遮熱板及び最小限のバンテージの装着可。

■タイヤ

- タイヤは一般公道用に市販されていて通常ルートで購入できる物に限る。
- ※12インチは市販レインタイヤ使用可。
- ※ミニモト専用タイヤは使用可。
- ※ダンロップKR410の使用可。
- ×スリック・インターミディエイト・レーシングレインは禁止。
- ※ただし、17インチ車両はレーシングレイン使用可。

■ブレーキ関係・フレーム・外装

- ホース、バンジョーボルト、パッド、シュー、ワイヤー、オイル、レバー、リヤブレーキタンクレスキットへの変更可。
- パッドスプリングの取外しは可。
- キャリパーガード、マスターシリンダーガードの取付け可。
- GSX125クラスに限り、フロントディスクローターの変更は可。
- ×フレームの変更不可。
- クラックや破損等による溶接等の補修は可。
- ※ただし、性能向上になる溶接等は一切認めない。
- 純正カウル以外を取り付けるための最低限の切削・加工可。
- 前後スプロケット、チェーン (サイズ)、ハンドル、ステップ、トップブリッジ、カウル・シート類の材質・形状変更可。
- メーター類取り外し・変更可。
- GSX-R125/S125に限り、フロントマスターシリンダーの変更可。
- ※ただし、ピストン径は9/16 (14.3mm) 以下とする。

■その他

- オイルポンプ取り外し可 (2スト車両)。
- バッテリーの変更、取り外し可。
- エアクリナーボックス・エレメントの変更・取り外し可。
- ※ラムエアBoxの使用は不可。
- ※4スト車両は取り外しを行う場合、必ずオイルキャッチタンクを取りつけブリーザーホースは大気解放せず、キャブ吸入口の一番低い個所の水平線よりも上部に取り付けること。
- チャージコイルの変更取り外し可。
- NSR50/mini、NSF100のエンジン関連パーツ以外の互換性を認める。
- XR100M、APE100/100Dの互換性を認める。
- KSR110はマニュアルクラッチへの変更可。
- KSR110に限り純正と同サイズの前後ホイールの変更を認める。
- エンジン冷却のためのダクトや整流板、ラジエーターカバーの追加変更可。
- Lケースカバーの熱対策の為のワッシャー・カラーの追加は可。
- ※ただし、5mm以内とする。
- ×ガソリンタンクの変更・改造は不可。
- ※ただし、タンクカバーの使用及び給油口の改造変更は可。
- ラジエーターの変更・改造は可。
- ※ただし、著しく性能向上するものは車検長の判断により不可となることがある。
- GSX-R125/S125は転倒時に地面と接触する恐れのあるクランクケース及びエンジンカバーに厚さ2ミリ以上の樹脂製 (FRP/カーボン等)の2次カバーを強固に取り付ける事。
- ※ただし、カウル等が2次カバーの役割を完全に満たしている場合は免除となる。

FN4車両

参加可能車両

- 4スト排気量125cc未満の国内で通常ルートで販売されているホイール径10インチスクーター

- ★2バルブ125cc未満・4バルブ115cc未満は無条件で参加可。
- ★4バルブ125cc未満の車両については、性能の均衡を図る措置を適宜主催者判断で講じるので、それに従うこと。

- 灯火類の取り外し可。
- メーター類の取り外し、取り付け可。
- ※ただし、aim・バーカル等のマルチメーターは不可。
- メーターワイヤー取り外し可。
- メーターギア取り外し可。
- メッシュホース (Fブレーキホース)の取り付け可。
- 油脂類 (ブレーキフルード・エンジンオイル・フォークオイル・各部塗布グリス)の交換・変更可。
- 路面接触の緩和、ライダー体格差補正のための車高調整用アダプタ追加可。及び突き出し量変更のステム小加工は可。
- 路面保護、安全性確保のための車体路面接触部分の最小限の切削可。ただし、指定部分のみ。
- ※走行性能に関わる可能性のあるマフラーの切削加工は不可。
- ※安全性に問題がある (強度低下等)と思われる切削加工は不可。
- タイヤ変更可。(純正サイズ変更も認める)
- ウエイトローラー変更可。
- シムワッシャーの追加、変更可。
- リアサスペンション変更可。
- ×リアショックの取り付け位置・取り付け形状の変更・仕様変更は不可。
- バーエンド、グリップの追加・変更可。
- ブレーキレバーの変更可。ただし、無加工の物に限る。
- ブレーキパッド交換可。
- カバー類の追加・変更可。(ライトカバー追加、社外カウルへの変更等)
- プラグの変更可。
- ×限定仕様車の走行性能に関わるパーツは、原則使用禁止。
- ×バルブすり合わせ、バルブシートカット、クリアランス調整については、基本メンテナンス範囲 (サービスマニュアル記載内容) 以外の方法 (シートカットの角度変更等) は不可。
- また、規定値を超える状態への設定、加工は失格となる。
- その他の研磨、アタリ取りはすべて不可。
- ×「別フレーム型式」間の流用は同一車種であっても基本的に認めない。
- 「同一車種間」の足回り・マフラー・駆動系・外装に関して無加工で取付出来る純正パーツの流用を認める。
- (上記2点の補足)
- 例：アドレスV125/V125Gに関して「同一車種間」(K5、K6、K7、K9、L0)による足回り・マフラー・駆動系・外装に関して無加工で取付出来る純正パーツの流用を認めるが、フレーム番号CF46A-**** (K5・K6・K7)とCF4EA-**** (K9・L0)は、「別フレーム型式」となり、「同一車種間」で認めない以外の流用は認めない (エンジン部品、電装等の流用は不可)。
- 足回り：ステム、フォーク、ブレーキ、ホイール、その他ボルト、ナット、シャフト、ワイヤー、ホース、カラー、従属品一式
- 駆動系：プーリー、フェイス、ボス、ランププレート、スライドピース、ベルト、クラッチユニット、ギア、固定用ナット
- O2センサーの取り外しに伴うO2センサー穴のメクラ及びO2センサーキャンセルのためのパーツの取付けを認める。

A耐久

SPクラス車両規則

参加可能車両

- 2スト排気量50cc未満
4スト排気量100cc未満
17インチ以下のミッション車両
NSR50/mini・NS50F/R・NSF100・Ape100・XR100M・GROM等
※グロム・Z125は参加可

■チャンパー・マフラー

- チャンパー・マフラーの変更可。

2スト車両

上記条項以外はA・B耐久ノーマルクラス車両規則に準じます。

4スト車両

エンジンはミッション付き4ストローク125cc、メーカー出荷時のノーマル状態とする(クラッチ系・ミッション系部品含む)

■エンジン関係

- あたり取りは可。
- ×追加のホーニング処理やヤスリやリユーターを使用することは厳禁とする。
- キャブレターの変更可。
- マニホールドの改造・変更可。ジェット・ニードル・スロットルバルブの改造・変更可。
- キャブレター口径22パイ以下の使用車両に限りハイカムの使用可。ただし、カムホルダー・ロッカーアーム等ヘッド周りのパーツを無加工で取付けられる事。バルブタイミング調整を目的としたカムスプロケットの最小限の長穴加工も可。
- PD22チョークバルブの取外し可。その際の取付け穴の閉止処理は可。
- イグニッションコイル・スパークプラグ・プラグコード・プラグキャップの改造・変更可
- フライホイールの改造・変更可。ただし加工する際は耐久性を損なわないこと。
- オイルクーラーの取付け可。それに伴うヘッドカバー・クラッチケースカバーの改造・変更可。
- オイルポンプの改造・変更、オイル通路の拡張・閉止加工可。
- クランクケース内庄コントロールバルブの取付け可。
- Lケースカバーの改造・変更可。
- クラッチセンター(クラッチボス)の改造・変更可。
- NSF100・XR100M/R・エイブ100(タイプD)CRF100に関しては、純正部品の流用を可とする。
ただし、XR100RシリンダーASSY(12100-436-000)の使用は不可。

■フレーム関係

- ×アルミフレーム・オリジナルフレームは禁止する。
- 2スト車両のフレームに4スト100ccエンジンをスワップする際のエンジンハンガーの使用・追加のステーは可。

■SPクラス特別規則

※主催者が認める他のミニバイク選手権の同等クラス(SP仕様)での参加を原則認めます。事前に主催者に必ずお知らせください。

上記条項以外はA耐久・B耐久ノーマル車両規則に準じます。

A耐久

OPクラス車両規則

参加可能車両

- 4スト排気量125cc未満
12インチ以下の車両
※GROM・Z125・KSR110は150cc未満まで可
- 4スト排気量150cc未満
13インチ以上17インチ以下の車両
※市販車150ccアルミフレームは125cc迄
- 2スト排気量80cc未満の車両

■エンジン関係

- 規定排気量以外の改造可。
※レース専用モトクロッサーエンジンの搭載は禁止とする。
※メーカー純正4スト150cc車両はノーマルエンジンとし、改造・変更不可。

■チャンパー・マフラー

- 変更可。
※ただし、有効な消音機能を有し、一般良識の範囲で著しく大きな排気音でないこと。サイレンサー後端がリヤタイヤ後端を超えないこと。音量・形状・取り付け不備については、車検長・大会役員が判断する。

■ショック・スプリング

- 変更可。
※ただし、安全性に問題のある変更改造は認めない。

■タイヤ・ブレーキ

- ブレーキ関係部品変更可。
※ただし、安全性に問題のある変更改造は認めない。
- 17インチ車両のレーシングレインタイヤの使用可。
- スリックタイヤ・インターミディエイトの使用は禁止とする。
※17インチ・12インチ車両のタイヤ規定はB耐久/A耐久ノーマル車両規則に準ずる。

■外装・フレーム

- 変更・改造可。アルミフレーム可。
※4ストのアルミフレーム使用車両は、125cc未満とする。

■その他

- ×危険な改造は不可。安全上問題のある車両は、主催者・車検長の判断で、出走を禁止する場合がある。
- 上記条項以外の改造変更可。

上記条項以外はA耐久・B耐久ノーマル車両規則に準じます。

北川圭一杯2時間耐久ミニバイクレース 大会規定

1.主催者の権限

- 主催者は競技運営に関する全ての権限を有する。
- 主催者は理由を明かすことなく参加を拒否する事が出来る。
- 主催者は大会秩序を乱す者、または乱す恐れのある者に対し開催当日でも参加拒否できる。
- 主催者は参加者、同行者の肖像権及び参加車両の写真、映像、音声の権限を有する。また、第三者に使用許可に関する権限も有する。

2.参加者の責任と義務

- 参加者は所定の申込用紙(同サイズ、コピー可)に必要な事項を漏れなく記入し、誓約書に署名、捺印、参加料を添え、各申込締切日までに近畿スポーツランドに持参、もしくは現金書留にて郵送するものとする。HPからネットエントリーの場合、申し込み後遅滞なく参加費を振り込み、受付時に所定の誓約書に参加ライダー全員の自筆署名押印をした書類を提出すること。
- 参加者が未成年の場合、親権者の自筆署名・実印の押印・印鑑証明の添付(コピー可、3か月以内)を不備なく提出すること。
- 申込用紙に虚偽の申告をした者は判明次第、失格となる。
- 参加者は本規則書、近畿スポーツランド規則を遵守することはもとより、参加者に同行するもの全員にも同様に遵守させる義務を負う。
- 参加者及び同行者は主催者、オフィシャル、その他関係者の指示や決定に従うものとする。
- 参加者及び同行者は主催者、オフィシャル、その他関係者、他の参加者、同行者に対して、非難、中傷、暴言を吐いてはならない。
※インターネット(SNS等)での誹謗中傷含む
- 参加者及び同行者は各自の家族に誓約書の内容、競技に伴うリスクを充分説明し、理解を得ること。
- 暴力団構成員、準構成員、関係者、または懲役刑を受けた者で、執行猶予期間の満了しない者刑法犯罪またはそれに類する犯罪で罰金刑以上に処せられた者。刑法犯罪で執行猶予期間の満了し、5年を経過しない者は参加、来場できない。また、チーム員、チーム関係者、ヘルパーその他名目の如何にかかわらず参加、来場、観戦できない。

3.抗議

- 抗議をすることが出来るのは参加者に限られ、書面によりその内容を具体的に記載し抗議対象1件につき保証金10,000円を添え、競技長に対象レース終了後30分以内に提出すること。保証金は、審議の結果当該抗議が認められる場合または妥当な抗議であるか裁定はわからない場合は返還される。抗議事態が妥当でない競技長が判断した場合没収される。主催者側の判定や決定に関する抗議は受け付けない。

4.罰則

- 大会中、諸規則違反、良識に反する違反があった場合、罰則を課す。警告、ピットストップ、タイム加算、周回数減算、順位降格、失格、出場停止、退場処分、今後一切の近畿スポーツランド入場停止等、主催者側で判断し決定する。
- 罰則の量定は、警告(2回受けると失格)→ピットストップ→タイム加算・周回数減算→順位降格→失格→出場停止→退場処分→今後一切の近畿スポーツランド入場停止等。

5.損害の補償

- 大会中参加者及び同行者の死亡、傷害、車両(搬送車両含む)等の損害について、主催者及び全ての関係者は一切の責任を負わない。たとえそれが主催者、大会役員、関係者の過失によるものでも同様とする。各参加者が個人的に別途、死亡、傷害保険に加入すること。

6.傷害補償

- 近畿スポーツランドセフティーメンバーに加入することを強く推奨します。加入希望者はレース10日前までに受付事務所か近畿スポーツランド公式HPより申し込んでください。

補償内容 死亡2000万円・後遺傷害3000万円(最高)
入院4000円(1日)・通院1500円(1日)
※入院及び通院には日数制限があります。

- ※この保険は近畿スポーツランドが幹事となり、(財)スポーツ安全協会のスポーツ安全保険に団体加入するものです。

7.大会中止

- 本大会は悪天候でも開催される。ただし、主催者が大会開催を困難と判断した場合中止する。例(記録的豪雨、積雪、台風、凍結、地震、その他の災害で開催が困難な場合やコース・設備の破損)
- 大会中止の場合は原則として、後日に順延され、参加料は返還されない。また、急な天候の変化、重大な事故等の場合も競技が中断、中止される場合もある。この場合参加料は返還されない。

駐車場について

- 近畿スポーツランドは約250台の駐車が可能ですが、毎年、場内に停車が出来ない方がいるほど早朝から満車状態になっています。駐車場に限りがあるため、できるだけ相乗りで少数車両でのご来場をお願いします。
なお、ピット裏パドックを除く、下の駐車場に停車出来るのは、原則1チーム1台までとします。違反チームはペナルティ対象となりますのでご注意ください。

大会中厳守事項

大会中下記条項を参加者及び同行者は厳守すること。

- ライダー及び大会関係者以外の走行中のコース入場は絶対禁止(各参加者は同行者に充分説明すること)。
- コース以外の場所(駐車場パドック等)でのウォーミングアップ走行は禁止。また、競技出場車両での場内移動用使用は禁止。
- ピット内や車両整備の付近や、ピットロード、ガソリンの近くでは火気厳禁。タバコ(加熱式たばこ含む)は、所定の場所で喫煙すること。
- 参加者は飲酒、薬物使用は厳禁。前日の飲酒も控えめにすること。
- タイヤ、部品、粗大ゴミの場内投棄を禁ずる(各自適法に処分すること)。
- その他のゴミもポイ捨て厳禁。
- 各参加者の搬送車両は必要以上にスペースを取らないこと。同行者の車両は第一駐車場に駐車し、パドックには駐車しないこと。
- 主催者の権限により各車両移動を命じることがある。特にマイクロバス等の大型車両の場合、主催者が駐車場所を指定する。その場合速やかに従うものとする。
- 幼児やペットは、ピット・ピットロードの進入を禁止する。その他の場所では保護者が同行すること。

競技規定

1.ライダーの装備 ※エンジョイ耐久はエンジョイ着用装具の規定に従う。

- ヘルメットはJIS規格C種以上またはMFJ公認、スネル規格のオンロード用フルフェイス(シールド付き)に限ります。※オフロード用のヘルメットの使用は禁止。
- レーシングスーツ、レーシングブーツ、レーシンググローブ(手首まで隠れるもの)
- 各装備品が著しく劣化・著しい傷・破れ等のある物は使用禁止。
- 脊椎パッド(プロテクター)を必ず装着すること。
- 胸部プロテクター(チェストガード)、ヘルメットリムーバー、ネックガードを強く推奨。

2.ライダーズミーティング

- 参加者は必ずライダーズミーティングに参加しなければならない。不参加の場合は競技に出場できない。

3.走行中規則

- ①ピットロードは人も往来している場合があるので必ず徐行すること。
- ②コースインは、直線上に後続のマシンがない、もしくは十分な距離があることを確認し、必ず手で合図コースインすること。本線走行車両が絶対優先。
- ③本コースにコースイン後は、ホワイトライン終了地点までアウト側を走行すること。
- ④ストレート上での急な進路変更・蛇行走行・幅寄せ・前走者の直後びたりとつく走行は厳禁(非常に危険です)。
- ⑤コース上で転倒した場合、後続車との衝突を避けるため、必ず後方をよく確認し、コース外の安全な場所へ避難すること。後方確認しないですぐ移動しないこと。転倒した場合は、オフィシャルの指示に従うこと。
- ⑥マシントラブル等で停止する場合は、コース上に停車せず、コース外の安全な場所に停車すること。
- ⑦競技中はオフィシャルが掲示するフラッグ(旗)に必ず従うこと。
- ⑧ストレート左側の黄線よりアウト側は走行禁止区域エリアとする。危険回避の場合以外進入しないこと。
- ⑨走行中は、オフィシャルの指示がない限り、いかなる場合も逆走しないこと。
- ⑩走行中は、オフィシャルの指示がない限り、いかなる場合もコースを横断しない事。
- ⑪危険行為、妨害行為を禁止する。プッシング、ブロッキング、非スポーツマン行為等。
※上記行為に対する判定の抗議は一切受け付けない。

4.競技中断

- 競技中の重大な事故・著しい気象条件の変化で競技を中断する場合はコントロールタワー前で赤旗を掲示する。各ライダーは細心の注意をし、スローダウンして、ピットインすること。

5.競技の成立

- 原則赤旗等の場合競技の2分の1が終了していれば競技成立となる事がある。
- 上記の場合、いかなる場合でも抗議や参加料の返還は受け付けない。

6.車両検査

- 全ての参加車両は所定の時間内に車両検査を受けなければならない。
- 失格、改善の指摘等車検長の判断に速やかに従わなければならない。
- 車検合格の車両には合格のステッカーまたは印がされ、大会終了まで、剥がしてはならない。
- 車両検査は主に安全面を重視するものであり、車両規則違反の判別をするものではない。

7.競技終了後の車両保管

- 上位車両は競技終了後直ちに競技車両の車両保管をする(特に問題がない場合、競技長の判断で車両保管されない場合もある)。
- 車両保管解除まで、車両保管場所から競技車両の移動はできない。
- 再車検の場合は、ピットに戻らず、指定車検場に速やかに移動し、分解等、車検長の指示に異議なく従うこと。

北川圭一杯2時間耐久ミニバイクレース2023 タイムスケジュール

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
受付・車検			30									
耐久フリー走行		エンジンヨイ 30 B耐久(ノーマル/GSX125) 45 A耐久(OP/SP/ノーマル/GSX125) 0										
ライダーズミーティング			20	55								
エンジンヨイ耐久(A/B) 120分決勝			0									
お昼休み						15						
B耐久(ノーマル/GSX125) 120分決勝									45			
A耐久(OP/SP/ノーマル/GSX125) 120分決勝									0		15	
表彰式											45	30

- 6:30～ 受付・車検 ●7:30～8:15 フリー走行(各15分以内) エンジョイ耐久(A/B)→B耐久(ノーマル/GSX125)→A耐久(OP/SP/ノーマル/GSX125)
- 8:20～8:55 ライダーズミーティング ●9:00～11:15 エンジョイ耐久(A/B)120分(スタート進行15分間) ●11:15～11:45 お昼休み
- 11:45～14:00 B耐久(ノーマル/GSX125)120分(スタート進行15分間) ●14:00～16:15 A耐久(OP/SP/ノーマル/GSX125)120分(スタート進行15分間)
- 16:45～ 表彰式

☆タイムスケジュールは変更される場合があります。進行状況によっては走行時間・周回数を突如短縮させていただく場合があります。予めご了承ください。
 ☆赤旗中断、事故等で、レース中止、短縮があります、予めご了承ください。

駐車場に限りがあるため、できる限り相乗りで少数車両のご来場をお願いします。